

インターネットモニターアンケート結果

1 回答者

合計 76人

性別 男性39人 女性37人

年代 20代2人 30代10人 40代24人 50代13人 60代11人 70代以上16人

2 紙面で紹介した情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面「おもしろ理科教室」	44人
2・3面「地域ぐるみ家庭教育支援事業」「みらいの種」「イチオン政策」	15人
4面「エデュナビフェイス」「親子のための耳よりインフォ」「数字で見るあつぎの教育」	7人
興味を持てる記事がなかった	10人

3 興味を持った(持てなかった)具体的な理由をお聴かせください。

【1面】

- ・これから、子供たちにはモノづくりの楽しさを知ってほしく、理科教育は重要である。
- ・良い取り組みだと思うので。
- ・本当に面白いと思います。
- ・どのように勉強に興味を持ってもらうかは大切。
- ・地域の企業や大学の支援を得て子供たちが様々な理化学の体験が出来るのがとても良い取り組みだと思った。出来れば、地域ごとの児童館などで、こんな催しをしてくれたらもっと良いのではないのでしょうか。
- ・参考になる。
- ・理科に興味のある子どもたちには、とてもいいなと思ったからです。好きなところをどんどん伸ばしてあげるサポートがあると、見えてくるものが変わってきたりするのかなと思いました。
- ・理科が好きだから。
- ・子供の目の輝きがすばらしくて、こんな企画をいっぱいしてあげたいと感じました。
- ・官民が一体となって子供達が理科を学ぶ環境整備に取り組んでいることが伝えられていることや、実際に理科を学ぶ子供達の姿が写真紹介されていて、ポイントを的確に捉えた誌面になっていました。
- ・身近で体験できる理科が楽しそう。
- ・小学生の時から理科に興味を持つことにより、数年後厚木市が工業都市に生まれ変わる可能性がある。
- ・理科が好きだから。
- ・知らなかった。良い授業だと思う。

- ・こどもが興味をもちそうでよいと思った。
- ・こどもの真剣なまなざし、写真の子どものキラキラした目を見て、この中からいつか科学者が生まれるのかなとこちらまでワクワクしました。
- ・面白い。ワクワクして興味を誘う。
- ・子供の目がキラキラしている。
- ・子どもの理科離れが少し前に話題になっていたから。
- ・テレビ番組ででんじろうさんがおもしろく理科の実験をやっていたことを思い出したので興味を持ちました。
- ・私が子供の頃にこういう理科教室があれば、もっと理科に興味をもつことができたのに。
- ・子供のころ、従兄にもらったダイオードとイヤホンで、NHKのラジオがかすかに聞こえた時の感動は、今も鮮明に覚えています。教科書などの紙の上ではできない感動を、是非より多くの子供たちに味わってもらえるよう、おもしろ理科教室を続けていただきたいと思います。
- ・子どもが見て触って参加できる企画は、我が子にもしばしば参加させていまして好評でありますので、今後も活動を続けてほしいです。
- ・いろいろな知識を得る体験ができることは、成長には必ずプラスになると思います。また、違った環境での活動は対人に対する訓練にもなり非常に良いかと思えます。
- ・我が子が理科が大好きなので、わくわくします！
- ・実験などを通して、理科に関心が向くことは素晴らしいと思いました。
- ・高齢者にもこの様な教室が有ると嬉しいです。
- ・当たり前なことだが、より頑張っ欲しい。
- ・理科は難しいイメージがあるので、楽しんで学ぶことは良いことだと思います。
- ・これからやらせてあげたいと思います。
- ・ワクワクする授業は知識だけでなく豊かな心も育みます。
- ・市内の大学や企業、団体と連携した実践的な教育。大学生や企業人のスキルやキャリアの活用成果。
- ・子どもが小1だが、こういった活動をしていることを知らなかったため。
- ・今後子どもたちが科学に興味を持つというのは重要になるとともに、厚木市の強みになっていくと思います。この記事の写真の子どもたちの目が生き生きとしてよいと思いました。
- ・楽しそう!! やってみたい!!
- ・私が小学生の頃は、理科の実験を頻繁に行っていて、とても興味深いものでした。今はかなり少ないと聞きますので、こういう取り組みは必要だと思います。
- ・興味が出ました。
- ・理科離れが叫ばれているなか、小さいころから身の回りの現象について、なぜどうしての視点を子供たちが養うのにいい機会だと思いました。
- ・様々な企業との連携が成されていることが確認できたため。また、子供たちが楽しそうに参加しているため。
- ・理科教室があったら、子供に参加してほしいため。
- ・理科好きの子が増えるといいなと思っており、こういった教室は子どもたちの好奇心を刺激すると思ったので。

【2・3面】

- ・取り組み方が良い。
- ・このような地道な活動が大事。
- ・共働きの時代が進む中、子供達の孤独感も増してきていると思います。地域ぐるみで子供達とふれあう機会を作る重要性を感じています。
- ・核家族化が進む現代、ネットや書籍に頼りがちな中での地域の取り組みに感心させられたからです。
- ・地域ぐるみの活動への活発な取組みが注目される。
- ・地域の繋がりがとても大切だと感じます。
- ・厚木の各地域で活発に地域ぐるみで家庭教育を補完、支援していることが分かりよかった。
- ・子供達は、社会全体で育てるのが良いと思うので、素晴らしい取り組みだと感じた。
- ・子供会などの地域と子供をつなぐ活動が少なくなっているからこそ、地域ぐるみで教育を行うのは望ましいことだと思う。
- ・家庭教育支援事業に興味を持っているから。
- ・今までは子供向けのイベントが自治会や子供会など、主催するところによってバラバラでしたので、全ての年間行事をマージして一俵にまとめた睦合南の活動に興味を湧きました。
- ・自分も子育て中なので、必要性を身に染みて感じているので。
- ・地域との繋がりはとても大切だと感じています。

【4面】

- ・厚木の教育傾向を知るのは、大事だと思いました。
- ・以前に梅津さんの携帯講座を聞いたことがあります。子供に携帯電話を持たせるにあたり、とても参考になりました。
- ・26.9g というと、本当にごく少量ですが、確かに私が子供の頃も「人参が嫌い」「グリーンピースが苦手」など、ほぼ完食しているクラスメイトも苦手なものを残していました。アレルギー以外の好き嫌いなら、好みで完食できる味付けは大事なのだと思いました。
- ・相川小学校の放課後子ども教室でボランティア活動をしています。今後も応援者が増えるといいなと思います。
- ・スクールサポーターの存在を知らなかったため。
- ・給食の食べ残し量を減らしていきたいですね。
- ・食べ残しに興味あり。何が残されているのか、理由は何なのか。

【興味を持てる記事がなかった】

- ・教育委員会が社会と遊離しているからでしょう。
- ・共感できる記事がない。
- ・自分の子どもに合う内容ではない気がしたから。あと見にくい気がしました。
- ・内容がちょっと、難しいかなと思いました。
- ・教育委員会ならば本来の学校での取り組みを紹介すべきで、小学校の英語教育の対応やいじめ

件数、教員の超過勤務実態など報告すべきだ。

- ・子供がいないため
- ・広報あつぎと同じように変化がない。
- ・自分には関係ないと思ってしまったから。
- ・厚木市の広報は内容が薄い。是非、日本一に輝いた広報誌から学んでほしい。厚木市の職員も情熱を持って臨んでほしい。

4 地域ぐるみ家庭教育支援の取り組みを紹介しましたが、家庭教育の向上のためにはどのようなことが必要だと思いますか。

- ・家族での話題。
- ・親（保護者）の教育！
- ・家庭でしっかりと食事と運動、睡眠を取って親からの愛を沢山伝えること。
- ・本当に困っている方々に市の行政の助けが、届いているか解析してほしい。
- ・両親の余裕。
- ・効果の確認をお願いします。
- ・親の子供に対する信頼
- ・地域と家庭とのコミュニケーション。
- ・このような家庭教育を支援する取組を近くの公民館や児童館などで手軽に受けられる仕組みになっていると良いのではと思います。
- ・当たり前かもしれませんが、まずは親も家庭教育に興味を持つ事かなと思います。
- ・塾や習い事も必要であると思いますが、先ずは、社会に溶け込める人格の形成も必要だと思います。高齢者の協力を得たイベント等を強く推進していく重要性を感じました。
- ・最近は共働き家庭が多く、家庭教育にかける時間も労力も減っているように感じます。お金が有れば出来るのかという疑問ですが、家庭教育をすべき親の目が家庭ではなく、外を向いているように思います。もっと子育てを大事にしようとする意識が必要だと思います。
- ・地域の協力。
- ・娘は子供会に大変お世話になりました。やはり自治会が主体となって子供に目を向けないと、地域で育てることは難しいと思います。
- ・地域でのイベントに子供の頃に私も参加したことがあります。それをきっかけに知らない人にもイベントで会った大人だと挨拶するようになりました。家庭教育では他人へのマナーや挨拶、安全不安全の見分け方などを教えることが大事だと思います。
- ・親と子供が、色々なテーマで話し合える（集団でも良い）取り組み（イベント）が有ったら良いと思います。
- ・何事でも話ができ、話し合える家庭内コミュニケーションの充実、このことを通じた親と子の信頼関係の確立が大前提です。
- ・話しやすいような雰囲気や声掛けを行う事。
- ・親子で話しをしたり聞いたり一緒に考えたりする時間が必要だと思います。そこから親も子もそれぞれ家庭の様子で違いますが、その個々により向上が見えてくると思います。

- ・共働きがしやすい環境を整えること。
- ・親の支援。
- ・子供の話はどんなに忙しくても耳を傾けて、誠実な答えをする。
- ・大人の心のゆとり。大人も子供と一緒に地域活動に参加する。
- ・こども目線。
- ・事業を沢山開催するより、日常の地域でのあいさつや声かけが大切だと思う。
- ・まずは親と子供の家庭内での良い関係、忙しさのあまり外部の支援を期待する前に、親が子供に深い関心を持ち、子どもと向き合う意識、まさに「家庭教育」がまず必要だと思う。その上で計画してくださっている活動に親子で参加できたら一番だと思う。
- ・自分の子も、他人の子も同じように接することが大事なのでは、と思いました。
- ・市民に沿うバックアップ。
- ・自分、他人を問わず、大きな視点で子供に接することができる大人になることが必要だと思う。
- ・勉強を家族が見てあげる。
- ・宿題を増やす。
- ・地域社会が高齢化で衰退しているのでは家庭教育への支援も困難になっている。もはや旧来の考えから行政が学校単位で家庭教育や伝統行事を支援する体制に切り替えるべきだ。
- ・地域、学校の行事などにあらゆる人が参加しやすいような、工夫が必要だと思います。子供がいても多忙で、子供に関わる時間が取れないような家庭を対象に考えた施策が必要だと思います。
- ・近所付き合いが希薄な現代においては、旗振り役のもとに支援活動せざるを得ないですが、時代の流れで時代に合った形で行うことが大事だと思います。
- ・家庭だけではなく家庭外での活動も大事かと思います。たとえば近所であったり、対外的な活動も家庭教育に直結するのではないかと思います。
- ・たまに「あつぎ元気Wave」で紹介するといいかも。
- ・勉強だけでなく他のことも教えてくれるような、少しお兄さん、お姉さんのような存在が身近にいてくれるような環境。
- ・地域のボランティアの活動が大切であるが、自治体からの物心両面からのサポートが継続のために不可欠だと思います。
- ・親の教育が大事！
- ・親の意識の向上（我が子の学力向上を学校任せにするのではなく、自分たちがやるのだという意識）、親が子どもの教育に関わるだけの余裕を持つこと、塾など高額な費用が必要なものだけではなく、安価で手軽に自己学習をできるような時間と場所。
- ・地域の結びつきが強くなり、保護者同士が支え合えることが必要だと思います。
- ・地区の高齢者と子供達とのふれあいは良いですね。
- ・社会性で、学校の責任が重くなってきているが、家庭でも責任感を持って育児に励んでほしい。
- ・両親が協力して、子供の勉強を見ること。
- ・周囲のサポート。
- ・経済的な援助は不可欠だと思います。
- ・スクールサポーターのような多様な人材の増加と活動の強化。
- ・参加しやすい雰囲気や、開催日時が多いこと、多種多様な催しがあるとありがたい。

- ・地域の方にも、子どもを育てることに関わってほしい。あたたかい目で見てほしい。
- ・子育て世代は、何をやるにも子どもが一緒なので、子どもと一緒に参加できる。
- ・ゆとり。ひとつは親が家にいる時間を増やすこと、また地域内に学習施設があるとよいと思います。
- ・家族で行けるイベントを厚木市で増やしてほしいです!!!!
- ・地域の支援、親の負担軽減（労働時間の削減）。
- ・家庭内でのしつけが大切だと思います。各家庭で子供や子育てにちゃんと向き合えるよう、ゆとりを作り出すことから始めなければならないと思いますので、子育て支援だけでなく、働き方改革などの他部門他領域との連携も必要になるかと思います。
- ・子育てが終わった世代にも、自分の子供や孫を見るような目でお役に立ちたいと思っている人は沢山いると思うので、そういう人たちが手を挙げやすい、参加しやすいムードや周知活動など。それから、「モンスター」的な親はいると思うので・・・受ける側の親の意識も大切では。
- ・家庭の余裕が必要だと思います（時間と心、両方の面で）。父親を夕食時に自宅に返して欲しい。母親ひとりでは、家事育児に余裕がなくなる。
- ・時代によって、家族のスタイルやあり方が変動しているので、その時々生の声をいかに取り入れるかが大事だと思います。
- ・孤立しないこと。SNSなどからではなく、なるべく人と関わって情報を得るようにすること。
- ・積極的な参加。
- ・子供たちが気軽に大人に相談できる雰囲気。
- ・親の世代も参加できるような教育システムの創設。
- ・様々なイベントに参加を促すことで、よりよくなっていくのかと思います。抽選で外れると参加できなくなってしまうので、回数を増やすなどしていくといいと思います。
- ・親（特に母親）からのしつけが要。甘やかし、放任がいけない。
- ・ひとりよがりにならないで、いろいろな人の意見を聞き入れる余裕が保護者にあること。
- ・地域自治会にも支援者の代表を設定し、支援の裾野を広げられれば良いと思います。

4 今回の「教育委員会だより」について、意見、感想があればお聞かせください。

- ・理系離れに理科教室は良いと思いました。
- ・かなりきめ細かく行われていることが分かった。
- ・近年、学校給食の食べ残し等の問題がよく取り上げられています。給食代についての問題もあるとは思いますが、子供たちが美味しく食べられるような献立内容の検討も大切な事だと思います。
- ・知らない事が色々載っていて勉強になりました。
- ・イチオシ政策やモデル地区の活動成果が分かりやすいと思いました。
- ・子供達の事を気にかけてくれる地域の人が沢山居ることが分かり安心しました。
- ・一般市民の声が反映されていないように感じた。
- ・子供を取り巻く環境がない人にも知ってもらえるいい機会になったと思う。
- ・数字で見るあつぎの教育おもしろかったです。残さず食べるにはどうしたら良いか考えさせられました。

- ・理科の実験など楽しいイベントがあって勉強と遊びを一緒にできるので良いと思いました。
- ・「地域で子どもを育てる」が興味深かったです。子供の居ない家庭、子供が巣立った家庭が学校や幼稚園・保育園が煩いとクレームをしたとのニュースが時々聞かれます。学校（児童生徒）と幼稚園・保育園（園児）と地域（父母で無い方）が触れ合う機会を増やす事が必要だと思います。
- ・「教育委員会だより」の読者層が父兄を対象にされているようで、それはそれでよくまとまっていると思いますが、子供さん達にも「読んでもらいたい」、「伝えていきたい」、「学んでもらいたい」という記事があっても良いのではないかと感じました。今回の「理科教室」の誌面を讀んでいて特にそのことを意識しました。
- ・がんばっておられる方の背景が良く見えてよかったです。
- ・「地域で子どもを育てる」では、分かりやすく説明がされており丁寧な取材からであることが伺えました。また、写真を多く取り入れているので更にそれを観ながら理解できました。
- ・文字が多すぎ。もっといろんな情報を乗せてほしい。
- ・今後の厚木市の発展に貢献してくれると思う。
- ・楽しかった。
- ・形だけでなく、実効性のある事業推進をしてほしい。
- ・森の里在住なので、地域行事には家庭教育支援を含んだものもあると知り、今後はそういった視点を持って参加しようと思った。
- ・いろいろと考えられている事を改めて感じた。
- ・給食の残り量にまで目をあてて、細かいところまでよくみているなどと思った。
- ・敢えていうならば「教育委員会目線」による事業が目立つ。より自然に、あいさつし、声かけし、見守るような地域社会の風土が望ましい。
- ・地域ぐるみ家庭教育支援の活動を行っておられる方々がいて、いろいろなイベントを考えてくださるそのご苦労がとても素晴らしいと思います。
- ・良く活動している。
- ・身近なところから、改善を少しずつしていけばいいのでは。
- ・教育委員会のあり方をもっと身近に伝えていくと良い。
- ・今のままで良いのでは。
- ・学校の授業についていけない生徒たちをバックアップしてあげる仕組みをつくっていくといいのではないだろうか。
- ・エディナビからして、やけに横文字が多いが、市民感覚からしていかがかと思う。教育委員会発行ならば、きちんと日本語を使うべきだ。
- ・エデュ・ナビの「地域ぐるみ家庭教育支援事業」や「教育長コラム」を讀んでみると、厚木市はかなり家庭教育に関する状況は進んでいると感じます。しかし、学校や自治会、公民館の役員等をしていない限り、一般の人は子供たちと関わる機会がなかなか無いのが現状だと思います。今、お金と時間に恵まれ、また豊富な経験を持っている高齢者はたくさんいます。このような高齢者も巻き込むような方法を考え、知恵と場合によっては費用が掛かるような施策には、援助もしてもらえらるような、大胆な方策を検討してみても良いのではと思います。
- ・電子版もあれば必要な記事も保存しやすいので検討いただければと思います。
- ・もっと、ボリューム（ページ増でも良い）を増やして多くの情報や、掘り下げた情報を増やし

たほうが良いかと思えます。

- ・もっともっと変化内容がほしい。
- ・教育委員会は不透明なイメージなので、こういうものがあるのは良いと思う。
- ・おもしろ理科教室の詳しい内容や今後の予定など参加、協力したいと思う人がほしい情報があるとよい。
- ・理科教育は国語や算数同様重要な項目なので、多岐にわたって教育の機会を作っていきたいです。
- ・「地域で子どもを育てる」のコーナーでは、自分が森の里在住なこともあるので、知っている方のお話を読むことができ、より広報に親近感を持って読むことができました。たくさんの方がこうやって子供に関わってくださっていることに感謝します。
- ・地域の子ども、保護者に支援する方々はとてもありがたい存在だと思いました。
- ・いじめには「教育委員会」は逃げないでしっかり事実を掴み、対策してください。
- ・厚木は、よくやっていると思うが、学業の成績がともなっていないのは残念。
- ・両親が忙しい家庭のお子さんには、地域の支援が必要だと感じました。
- ・分かりやすかったです。
- ・理科教室も楽しそうで、苦手な子も興味を持てるといいなと思いました。
- ・農委だよりに折込まれており見落としそうになりました。
- ・どちらかといえば、教育委員会とはどんな組織でどんな活動をしているのか理解されない部分が EDUNAVI で透明性が図られて良いと感じた。
- ・今後もこのような広報があると嬉しい。また、地域活動たとえば今回の家庭教育支援に地域の人間が参加したい場合、どの窓口にお問い合わせればいいのか書いてほしい。
- ・紙面を読んでいて、自分の子どもの小学校では、本当やっているのか、疑問をもった。学校での通常授業ではない授業は、もっとPRしてほしい。
- ・モデル校で行っていて、全校では、実施されていないように感じた。
- ・地域で子どもを育てる、という考え方は今後のあるべき姿だと思います。実現は難しいですが、それに向けた活動を継続して行ってほしいと思います。
- ・次号を楽しみにしています。
- ・市内でさまざまな取り組みがなされていることは分かりましたが、具体的に自分が住んでいる地区でどのようなイベントがあるのか、どのような団体が積極的に活動しているのか見えてこなかったもので、難しいとは思いますが、地区別に活動状況や取り組み等を表にまとめてもらえるとより分かりやすくなったと思います。
- ・子育て中の世代だけでなく、各世代、地域ぐるみで知る必要がある情報だと思いました。
- ・4面の親子のための耳よりインフォの健康手帳は、年度末に家庭に返され、年度初めに学校に提出し、1年中、学校で保管されているため、じっくり見る機会が少ないと思います。夏休みなどにも家庭に返されたらいいと思いました。
- ・次回も楽しみにしています。
- ・「地域ぐるみ」お互い助け合い、支えあう姿勢を子どもたちにたくさん見せたいと思いました。
- ・今後も市民の意見や希望を取り入れ、より改善に臨んで欲しい。
- ・内容が多岐にわたっていて、様々な観点から教育について考えて政策に取り組んでいる様子が

わかりました。

- ・厚木市で、どういうことをやっているのかが分かってよかった。
- ・子供の記事であれば、困ったときのQAのような欄があると読み応えがあり、心が穏やかになる人も出てくるかもしれない。
- ・写真で訴える記事が多く、自然に記事が読めました。
- ・定期的に活動内容を報告して頂きたいと思います。

5 今後、教育委員会だよりで取り上げてほしいことがありましたらお聞かせください。

- ・イジメ対策。
- ・親からの意見、それに対する取り組みなど書いて欲しい。昔の学校の方が先生も親も良い関係だった気がします。
- ・子育て世代から、もっと意見を吸い上げてほしい。
- ・「いじめは有る！」これを前提にして目線を変えないと駄目です。「無いと思いたい！」これでは根絶できません。
- ・教育現場で自転車の乗り方指導など、子供たちを交通事故から守るような取り組みなどを願います。
- ・子育て相談のための各種コーナーをより具体的に紹介して欲しいと思います。父兄の方が困っていることに対する答えなども記事として紹介してもらえたら、より理解しやすく行動にも移せると思います。
- ・支援級の児童の内申点。高校進学について。どちらにも行けないグレーゾーンの児童の進学選択について。
- ・出身場所がそれぞれ違ったり、最近引っ越してきたりなど、同じ地域に住んでいても知らない人が大勢います。ニュースなどを見て「子供は防犯のために他人に挨拶しない」「知らない人に声をかけない」というのを見て、本当は子供なしの私も地域の子供に「おかえり」「おはよう」と挨拶したいけど声をかけないようにしています。地域の子供への地元の大人の対応について教えて欲しいと思いました。
- ・大学入試の変化に対応した高校・中学の教育の有り方。
- ・部分的に子供達も読者層とするコーナーも是非取り入れられるよう、ご検討ください。
- ・親が孤立しないような取組。
- ・小学校の登下校で毎日のように児童の身の安全を守ってくださる旗降りボランティアの方々に日頃からとても感謝をしています。その方々が脚光を浴び、もっと保護者も児童も学校も地域で感謝の気持ちを持ち続けていけたらと思います。
- ・もし出来るなら、発達障害の子に対する接し方。発達障害を持つ子の親の気持ち。中途半端に説明するのはやめて欲しい。誤解されるような内容など。
- ・学童保育の現状や課題などを知りたい。
- ・少なくとも、「市教委」の確固とした方針や決意を表明して欲しい。
- ・学校の中の様子。
- ・社会問題のいじめや教育格差、教員の超過勤務や病欠など、厚木の教育現場の現状と教育委の取り組み改善状況について。

- ・各小学校の詳細な情報もあったほうが良いと思います。
- ・給食。放課後の子供達。
- ・各学校の活動状況について定期的に情報を伝えて欲しい。
- ・インクルーシブ教育に疑問を持っているので、もっと現状を詳しく知りたいです。
- ・地域の子ども、保護者を支援する方々をまた紹介して頂ければと思います。
- ・先生の数が不足していて、過剰勤務になっていると思う。
- ・食育の啓蒙。
- ・学童保育についての取り組み。
- ・先生の業務の現状や軽減するための対策。
- ・現場でどんな問題がおきていて、どんな対策がされているのか知りたい。
- ・地域の子どもたちの実態、たとえば近所のコミュニティーがしっかりしているとか、そういう視点で教育を考えて行ってほしいです。
- ・良いことばかりでなく、悪かったことや問題点、及びその対策と成果について取り上げてもらいたいです。たとえば学力の推移や交通安全への取り組みなど。
- ・市民として何が必要なかを理解していない記事ばかりになっている。
- ・小中学校の学習支援
- ・子どもたちの読書傾向
- ・現在の学生の考え方などの声を取り上げられると面白いと思います。